

令和 3 年 12 月 9 日  
(一社) 建設技能人材機構

建設分野特定技能 1 号技能評価試験  
受験案内

1. 試験の目的

本試験は、国交省が定める「建設分野特定技能 1 号技能評価試験実施要領」に基づき、特定技能 1 号外国人として必要な技能水準を満たしているかを判定するものです。

2. 試験対象職種

電気通信

3. 試験日程

令和 4 年 2 月 3 日 (木)

※新型コロナ対策として、集合時間は受験者毎に異なりますので、注意のこと。

4. 試験会場

一般社団法人 建設技能人材機構

東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 3 7 森ビル 9 階

5. 受験定員

30 名

※定員を上回った場合、受験できないことがあります。

6. 受験料

4000 円

※受験会場にて現金で集めます。

7. 試験内容

本評価試験は、国交省が定めた建設分野特定技能評価試験実施要領に従い、学科試験および実技試験により行います。実技試験問題は、事前に公開されています。試験範囲および実技試験問題についての詳細は、(一社)建設技能人材機構の試験案内 HP を参照のこと。

<https://jac-skill.or.jp/exam.html> (日本語)

[https://jac-skill.or.jp/exam\\_en.html](https://jac-skill.or.jp/exam_en.html) (英語)

## 8. 受験申込み

### ① 受付期間

令和4年1月6日（木）から1月20日（木）正午12:00まで

### ② 申込み方法

（一社）建設技能人材機構の技能評価試験マイページから申込みすること

<https://jac-skill.or.jp/member/home/>

※マイページへのID登録は、事前に実施することができます。

※受験者本人がマイページにID登録されていることが必要です。

※申込みは、マイページに表示されるリンクから行ってください。

※氏名は、在留カードまたはパスポートと同じ綴であること。アルファベット大文字で記入してください。

※合格証書に使用する顔写真は、3ヶ月以内に撮影され、鮮明に写っているもので、正面を向いて、無帽・無背景であることが必要です。

※写真サイズは大きくても構いませんが、縦600ピクセル、横450ピクセルよりも小さいものは受けられません。顔部分をトリミングしても十分な大きさがあることが必要です。

※白い壁を背景に、スマホで撮影したものを、加工やサイズ修正などはせずにお送りください。

※写真を再撮影したものは、受けられません。本人を撮影してお送りください。

※ピントがあっていない写真、メガネが光っている写真、背景に物が写っている写真、まっすぐ前を見ていない写真、加工されている写真は、受けられません。

※有効な在留カードの表面の写真、もしくは正しく在留していることを示すものが必要となります。在留カードの裏面の写真は不要です。パスポートに貼付された在留期間更新許可シール等で有効性を示す場合には、パスポートの本人欄と同じパスポートであることがわかるように、パスポート全面を写して各ページのパスポート番号が判別できるようにするなど、同一のものであることが確認出来るようにしてください。

※在留カード・パスポートの写真で小さくて判別できないもの、券面が光っていて判別できないものは、受けられません。

※在留カードのコピーを撮影したものは、顔写真と同一人物であることが確認出来ないので、お持ちの在留カードを直接撮影してお送りください。

## 9. 当日持ってくるもの

### ① 証明書

- 在留者については、在留カード
- 在留カードを持たない一時入国者は、パスポート

### ② 受験票

マイページに PDF で送られますので、印刷するか、当日スマホ等の画面で見せてください。

### ③ 受験料 現金 4,000 円

### ④ 実技試験作業に適した服装

### ⑤ 保護メガネ

※当日持参しなかった場合、試験は受けられません。

※他の受験生に物品を貸したり、借りたりしてはいけません。各人で用意してください。

## 10. 新型コロナウイルス感染症対策

① 当日は現地で検温し、発熱があれば受験できません。

② 試験会場では、感染予防のためマスクを着用してください。

③ その他、現地会場の指示に従って入場していただきます。

## 11. 実技試験実施上の安全について

実技試験は、作業試験にて行いますので、危険が伴います。服装・安全装備も含め、採点官が安全に実施できないと判断した場合には、事故を未然に防止するため、試験実施を止めることがあります。必ず採点官の指示に従ってください。その場合、不安全行動と判断させていただき、試験は不合格となります。あらかじめご了承ください。

## 12. 受験前の準備

受験前の準備として、事前に、実技試験の実施例ビデオを視聴すること、学科試験の CBT 操作体験を実施することをお勧めします。

○実技試験 実施例ビデオ <https://www.itea.or.jp/topics/20201028.html>

(光) <https://www.itea.or.jp/topics/optical.mp4>

(メタル) <https://www.itea.or.jp/topics/metal.mp4>

○学科試験 CBT 操作体験 <https://jac-skill.mc-plus.jp/exam/trial/>

### 13. 合格発表

試験後 2 週間を目処に、マイページにて個別に行います。

合格した場合、各個人宛の合格証明書がマイページに送られます。

合格証明書は、PDF ファイルが原本となりますので、大切に保管してください。

試験結果公開 HP には、受験者数、合格者数、合格者比率のみが公開され、個人別の合否状況は掲載されません。また、試験問題内容、個人別の合否状況についてのお問い合わせにはお応えできません。

### 14. 学科追試験の実施について

本試験において、実技試験において基準点を超えたが、学科試験において基準点に満たなかった方を対象に、学科追試験を行います。追試験にて基準点を超えた方には、合格証書が発行されます。なお、追加の受験料は不要です。

今回の学科追試験は、2 月 28 日（月）に本試験と同じく建設技能人材機構にて行います。本試験の実施後、追試験の対象となる方には、追試験案内を送付しますので、希望される方は、追試験の申込みを行ってください。申込方法は、追試験案内にてご案内いたします。

結果発表は、本試験と同様、追試験実施後 2 週間を目途に、マイページにて個別に行います。

### 15. その他

台風、大雪等の悪天候や新型コロナ感染拡大の影響により、試験が実施できなくなる可能性があります。

申し込み後、注意事項がマイページに送られることがありますので、受験日までよく確認すること。

### 16. 個人情報について

本試験で必要な個人情報は、本試験および合格証明書発行業務にて使用します。

また、新型コロナ対策の実施のために必要となる場合、試験会場の施設管理者に提供することがあります。その他、国交省の受入計画審査等において求められた場合に、提供することがあります。

以上